



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和5年2月20日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

避難訓練を実施しました！（本年度最後です）

2月17日（金）学年末考査最終日に避難訓練を行いました。今回は、地震・火災の避難訓練でした。世界を見ると、トルコ、シリアで大規模な地震が発生し、多くの人々が犠牲になっています。その意味でも、タイムリーな訓練ではなかったかと思えます。生徒のみなさんはいつもと同じように、無駄な話をせず、速やかに避難することができました。さすが尾倉中学校生です。

【保護者・地域の皆様へ】



（参考：内閣府 HP）

（2月17日 避難訓練【地震】校長先生の話）

みなさん、こんにちは。前回の避難訓練でも話したように、避難訓練は、みなさんや先生方、家族、友だちの「いのち」を守るためです。「いのち」に関わることはこれからも真剣に取り組んでください。その意味で今日は真剣に取り組めただでしょうか。今後も「真剣さ」「真面目に取り組むこと」が命を守るということを覚えていてください。

さて、トルコ南部のシリア国境近くで大地震が発生してから10日になります。トルコ南部で発生したマグニチュード7.8の地震やその後の大きな揺れで、トルコとシリアでこれまでに亡くなった人はトルコで3万5418人、シリア側では少なくとも5814人と、両国で合わせて4万2000人を超えています。これは、隣の間接市の人口とほぼ同じです。今も多くの人たちが倒壊した建物の下に取り残されているとみられ、懸命の救助活動が続いています。被災者はトルコ国内だけで1300万人に上り、WHO＝世界保健機関はトルコとシリア両国の被災者の数は、最大で2300万人に上る可能性があるという見方を示していて、救助活動とともに被災者の支援が課題となっています。

このように大きな地震はいつ起きるか分かりません。一人一人が防災意識を高くもって過ごしていくことが必要です。

4月には新入生も入学してきます。1・2年生は先輩として、来年度も防災訓練、避難訓練には真剣に取り組んでください。以上で先生の話を終ります。

トルコ・シリア大地震1週間～死者3万人超 救助続く～

地震に自信を～あなたを守る次の行動～【総務省 消防庁 HP より抜粋】